



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

がんばろう 日本！
= 被災者支援、災害復旧・復興に全力 =

平成23年6月1日(水)
下館河川事務所
水戸地方気象台
宇都宮地方気象台

記者発表資料

東日本大震災に伴う洪水予報・水防警報の 暫定基準の運用について

～6月1日から暫定基準水位を設定～

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)により、下館河川事務所管内の小貝川・鬼怒川において、堤防等河川管理施設は142箇所(4月21日現在)の堤防の沈下、法崩れ、亀裂等の被災を受け、特に小貝川で大きな被災を受けました。

このため、下館河川事務所と宇都宮地方気象台及び水戸地方気象台が共同で発表する「洪水予報」、下館河川事務所が発表している「水防警報」の発表基準について、地震による堤防沈下や堤内地盤高の変動、被災状況やその後の復旧状況を考慮し、下館河川事務所と宇都宮地方気象台及び水戸地方気象台が協議して、6月1日から新たに設定した水位の暫定基準にて、洪水予報、水防警報を発表します。

今後は、梅雨前線や台風の影響から大雨となりやすい季節に入ります。大雨時には、河川は急に水位が上昇する場合がありますので、雨量や水位等の防災情報に注意してください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所
TEL 0296-25-2161 (代表)

副所長(技術) こめたに しんこう
米谷 信行 (内線 204)

調査課長 おぐり さちお
小栗 幸雄 (内線 351)

水戸地方気象台 防災業務課
TEL 029-224-1106

防災業務課長 くりた ともみ
栗田 智己

宇都宮地方気象台 防災業務課
TEL 028-635-7260

防災業務課長 いなば かずひろ
稲葉 和弘

1. 対象河川、観測所

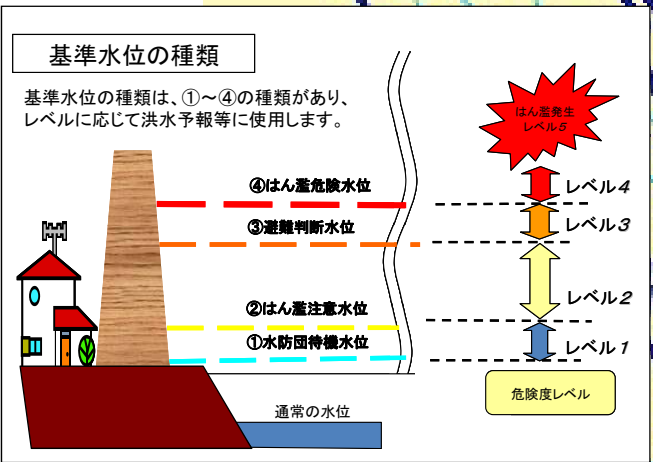
対象河川(区間)
■小貝川 59km～下流

凡例
下館河川事務所管内

- 水位見直し対象河川
- 水位変更なし観測所
- 水位見直し観測所
- 水位見直し河川

【被災後の基準水位の考え方】

- はん濫注意水位
健全に見える堤防でも、堤防内部の状況が不明であることから、高水敷高または堤内地盤高まで水位を下げる。
- 水防団待機水位
見直し後のはん濫注意水位に対して水防団が出勤可能な時間を考慮して設定する。



水位見直し対象

②はん濫注意水位
この水位を超えると、法崩れ、洗掘、漏水など災害が発生する危険性がある水位
(水防関係機関は出勤し、河川の警戒にあたる)

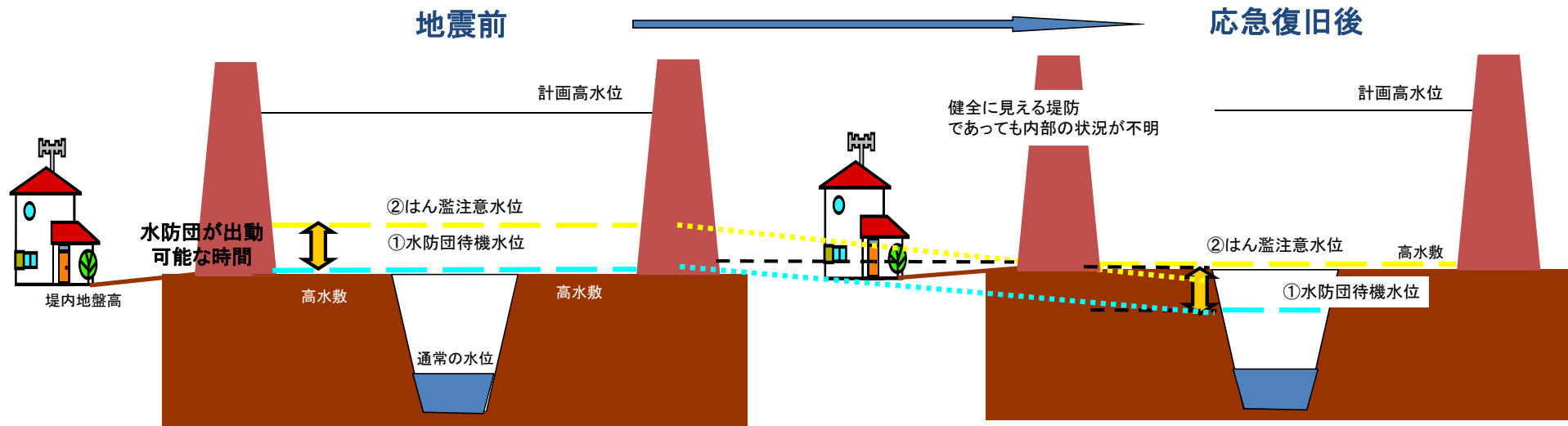
水防団が出勤可能な時間を考慮して設定した時間

①水防団待機水位
水防団関係者が待機、準備を行う水位

2. 基準水位の見直し(はん濫注意水位及び水防団待機水位)

水位の設定について(はん濫注意水位及び水防団待機水位)

健全に見える堤防でも、堤防内部の状況が不明であることから、高水敷高または堤内地盤高の高さまで、はん濫注意水位を下げる。
水防団待機水位は、見直し後のはん濫注意水位に対して水防団が出動可能な時間を考慮して設定する。



※従来のはん濫注意水位が、地震後の高水敷高または堤内地盤高より低い場合は、基準水位を変更しない。

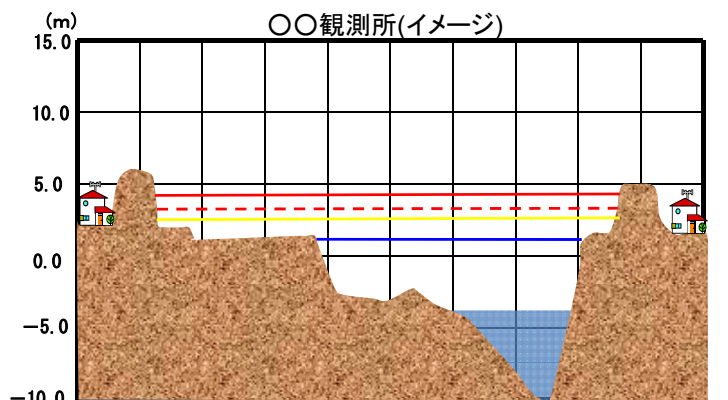
3. 基準水位の見直し結果(観測点毎の詳細設定)

■小貝川

		被災前	見直し後	設定根拠	観測所受持区間の堤防状況																
洪水予報・水防警報	小貝川	三谷	はん濫危険水位	3.10	3.10	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水位(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HWL</td> <td>3.380</td> </tr> <tr> <td>危険水位(被災前)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>危険水位(見直し後)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>S61.8 洪水</td> <td>3.78</td> </tr> <tr> <td>H16.10 洪水</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>H10.7 洪水</td> <td>3.01</td> </tr> </tbody> </table>		水位(m)	HWL	3.380	危険水位(被災前)	3.10	危険水位(見直し後)	3.10	S61.8 洪水	3.78	H16.10 洪水	3.02	H10.7 洪水	3.01
				水位(m)																	
			HWL	3.380																	
			危険水位(被災前)	3.10																	
	危険水位(見直し後)	3.10																			
	S61.8 洪水	3.78																			
	H16.10 洪水	3.02																			
	H10.7 洪水	3.01																			
	避難判断水位	2.70	2.70	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない																	
	はん濫注意水位	1.80	1.80	(堤内地盤高がはん濫注意水位以上)見直さない																	
	水防団待機水位	1.40	1.40	(堤内地盤高がはん濫注意水位以上)見直さない																	
	黒子	はん濫危険水位	5.80	5.80	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水位(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HWL</td> <td>6.082</td> </tr> <tr> <td>危険水位(被災前)</td> <td>5.80</td> </tr> <tr> <td>危険水位(見直し後)</td> <td>5.80</td> </tr> <tr> <td>S61.8 洪水</td> <td>6.86</td> </tr> <tr> <td>H5.8 洪水</td> <td>5.80</td> </tr> <tr> <td>H11.7 洪水</td> <td>5.71</td> </tr> </tbody> </table> <p>発生頻度の目安 はん濫注意水位: 例年 1回/年 → 暫定出水期 4.6回/年 水防団待機水位: 例年4.6回/年 → 暫定出水期 9回/年</p>		水位(m)	HWL	6.082	危険水位(被災前)	5.80	危険水位(見直し後)	5.80	S61.8 洪水	6.86	H5.8 洪水	5.80	H11.7 洪水	5.71	
		水位(m)																			
HWL		6.082																			
危険水位(被災前)		5.80																			
危険水位(見直し後)	5.80																				
S61.8 洪水	6.86																				
H5.8 洪水	5.80																				
H11.7 洪水	5.71																				
避難判断水位	5.40	5.40	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない																		
はん濫注意水位	3.80	2.50	・堤内地盤高、高水敷高を考慮し設定																		
水防団待機水位	2.50	1.80	・はん濫注意水位-被災前の水防団が出勤可能な時間分を踏襲																		
上郷	はん濫危険水位	5.10	5.10	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水位(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HWL</td> <td>5.542</td> </tr> <tr> <td>危険水位(被災前)</td> <td>5.10</td> </tr> <tr> <td>危険水位(見直し後)</td> <td>5.10</td> </tr> <tr> <td>S61.8 洪水</td> <td>6.10</td> </tr> <tr> <td>H3.9 洪水</td> <td>5.14</td> </tr> <tr> <td>H5.8 洪水</td> <td>5.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>発生頻度の目安 はん濫注意水位: 例年0.4回/年 → 暫定出水期 1.2回/年 水防団待機水位: 例年1.2回/年 → 暫定出水期 1.6回/年</p>		水位(m)	HWL	5.542	危険水位(被災前)	5.10	危険水位(見直し後)	5.10	S61.8 洪水	6.10	H3.9 洪水	5.14	H5.8 洪水	5.05		
		水位(m)																			
	HWL	5.542																			
	危険水位(被災前)	5.10																			
危険水位(見直し後)	5.10																				
S61.8 洪水	6.10																				
H3.9 洪水	5.14																				
H5.8 洪水	5.05																				
避難判断水位	4.60	4.60	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない																		
はん濫注意水位	3.60	3.00	・堤内地盤高、高水敷高を考慮し設定																		
水防団待機水位	3.00	2.70	・はん濫注意水位-被災前の水防団が出勤可能な時間分を踏襲																		
小貝川水海道	はん濫危険水位	6.50	6.50	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水位(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HWL</td> <td>6.596</td> </tr> <tr> <td>危険水位(被災前)</td> <td>6.50</td> </tr> <tr> <td>危険水位(見直し後)</td> <td>6.50</td> </tr> <tr> <td>S61.8 洪水</td> <td>7.03</td> </tr> <tr> <td>H11.7 洪水</td> <td>6.01</td> </tr> <tr> <td>H3.9 洪水</td> <td>5.97</td> </tr> </tbody> </table> <p>発生頻度の目安 はん濫注意水位: 例年0.4回/年 → 暫定出水期 1.4回/年 水防団待機水位: 例年1.4回/年 → 暫定出水期 2.2回/年</p>		水位(m)	HWL	6.596	危険水位(被災前)	6.50	危険水位(見直し後)	6.50	S61.8 洪水	7.03	H11.7 洪水	6.01	H3.9 洪水	5.97		
		水位(m)																			
	HWL	6.596																			
	危険水位(被災前)	6.50																			
危険水位(見直し後)	6.50																				
S61.8 洪水	7.03																				
H11.7 洪水	6.01																				
H3.9 洪水	5.97																				
避難判断水位	6.00	6.00	(地震後の堤防高が、計画堤防高より高い)見直さない																		
はん濫注意水位	4.60	3.80	・堤内地盤高、高水敷高を考慮し設定																		
水防団待機水位	3.80	3.40	・はん濫注意水位-被災前の水防団が出勤可能な時間分を踏襲																		

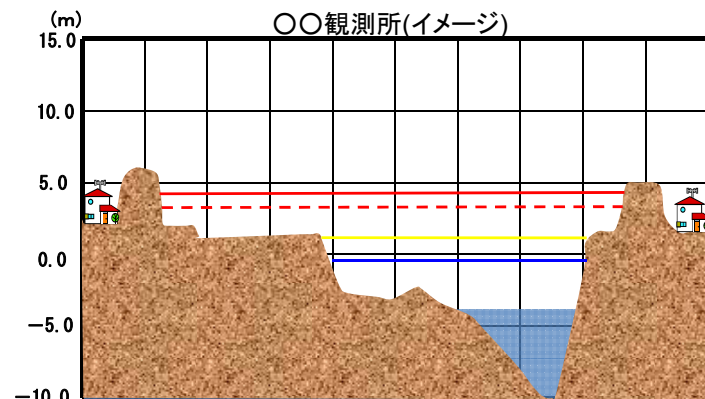
4. 基準水位観測所における水位見直し後の洪水対応シナリオ(地震前・後の比較)

例年(被災前)

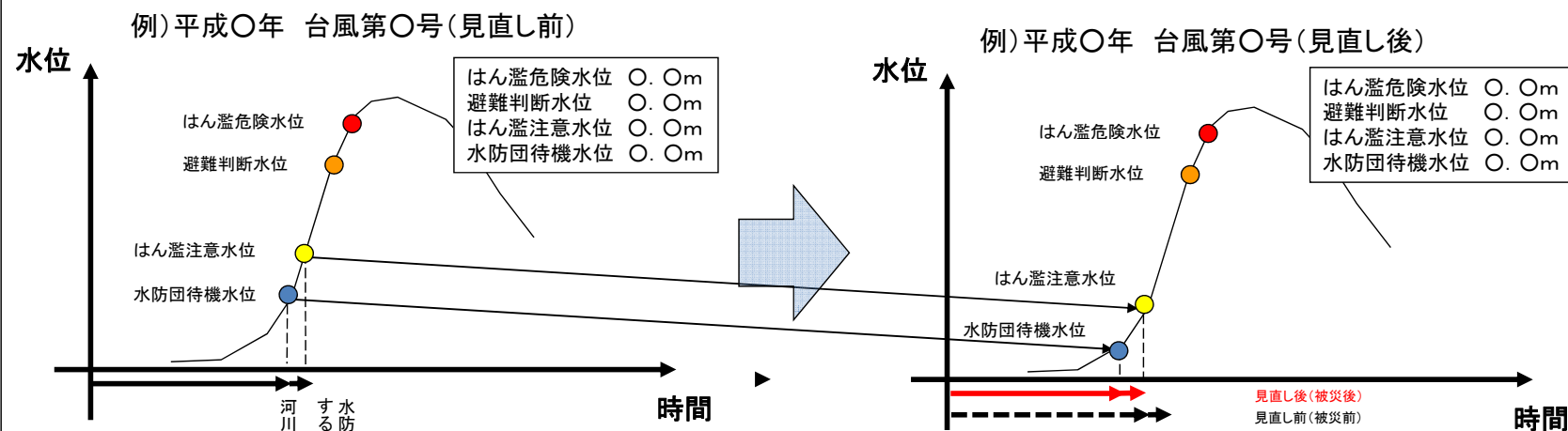


水防団待機水位 はん濫注意水位 避難判断水位 はん濫危険水位

本出水期(被災後)



水防団待機水位 はん濫注意水位 避難判断水位 はん濫危険水位



洪水予報等における基準水位が低く見直されることにより、水防団等の河川警戒活動が早くなることや被災した堤防状況に見合った適切なタイミングにより、市区町村の避難勧告等の行動が開始可能となる。